個人情報を記載した書類の誤交付について

このたび、当センターにおいて、患者の個人情報が記載された検査予約票と検査結果報告 書(合わせて以下「書類」という。)を誤交付するという事案が発生しました。

このような事態を招きましたことをお詫び申し上げますとともに、再発防止に取り組んで まいります。

1 書類に記載されていた個人情報患者氏名、生年月日、性別、患者 I D、診療科、診療情報

2 事案の経過

- ○令和6年7月19日(金)
- ・医師事務作業補助者Aは、患者Xの診療の際し、患者Xに交付する書類を診察室の机 に置いた。
- ・その後、医師事務作業補助者 A は別の業務で離席し、再び席に戻ったが、机に置いた 書類のことを失念し、患者 X に書類を交付し忘れた。
- ・医師事務作業補助者 A は、患者 Y の診察に際し、患者 X に交付し忘れた書類を患者 Y の書類と一緒に、患者 Y に交付した。

○令和6年7月29日(月)

- ・患者Yから、患者Xの書類が混入されていると架電があり、応対した受付職員が患者 Yに謝罪した。
- ・同日、患者Yが来院し、混入されていた患者Xの書類を医師事務作業補助者Bへ返却 し、医師事務作業補助者Bは患者Yに改めて謝罪した。
- ・医師事務作業補助者Aの上長が患者Xに架電し、本事案の経緯を説明するとともに謝罪した。交付し忘れていた書類は、患者Xが不要とのことだったので、センターにて破棄した。

3 誤交付の原因

- ・医師事務作業補助者Aが、別の業務のために離席し、書類を置き忘れたため。
- ・医師事務作業補助者Aが、患者Yの診察に際し、氏名やIDを確認することなく、誤って患者Xの書類も一緒に患者Yに交付したため。

4 再発防止策

- ○事案発生部署に対し、以下の点を改めて周知した。
- ・患者のファイルを整理する際は、途中で作業を中断せず、最後まで完遂すること、
- ・患者へ書類を交付する際は、当該患者の書類であるか、氏名・IDを患者と相互にチェックすること。